

Aコース 南から北へ 台湾を縦断する旅

南部に位置する高雄から、北部の台北まで台湾を一度の旅行で南北に縦断する旅です。当ツアーでは、途中、緑豊かな山岳地域で先住民ツォウ族が暮らす阿里山に宿泊します。翌日は登山鉄道に乗り、かつて新高山と呼ばれた玉山越しのご来光見学にご案内します。そのほか、美しい地下鉄の駅や、政治・経済の中心地だった古都の台南、台湾でもっとも旅情を感じる観光地のひとつ九份を訪れるなど、台湾各地でおおすすめの八景めぐりにご案内します。



台湾ビノキの産地・阿里山



台湾南部の港町・高雄

Cコース 徒歩観光を少なくした、ゆったり度3の旅

階段や坂道など、おみにご不安な方にも気軽にご参加いただけるよう、当コースではバスの乗降に段差の少ない小型バスまたは、中型バスを利用します。さらには、貸切遊覧船での観光や新幹線移動時は、重たい荷物は荷物専用車で運搬、階段や段差の多い場所を避けた観光地選定など、さまざまな方法で身体の負担を減らして、観光へご案内します。また、宿泊そのものが思い出となる「台北圓山大飯店」に2連泊します。小型・中型車利用でバスの乗降が楽に



新幹線利用時は、大きな荷物は別途

“美麗なる島”台湾

お好みに合わせてめぐる3コース

17世紀の大航海時代に、美麗島と呼ばれた台湾。
島の中心を3,000メートル級の山脈が南北に貫き、その周辺には、風光明媚な湖や、かつて新高山と呼ばれた山、歴史ある街々など変化に富んだ景観があります。
また、島国である当地は、新鮮な海や山の幸に恵まれています。
さまざまな国の食文化が融合し、日本人の口に合う醤油ベースの味付けもあります。
郷土料理をはじめ、団体では予約困難なレストランでのお食事もご用意しています。
はじめてでも、何度訪れても新しい魅力に出あえる台湾をこの機会に訪れてみませんか。

Bコース 年に一度の光の祭典 「ランタンフェスティバル」を楽しむ旅

台湾が1年でもっとも華やき、盛り上がる“光の祭典”を見学します。毎年会場は変わり、2026年は台湾中南部の嘉義県で開催されます。今や風物詩ともなった催しは、台湾内のお客さまだけでなく、日本を含め海外からも多くの方が訪れ、盛大な規模で行われます。宿泊は、ランタンフェスティバルの見学に便利で、会場にほど近い嘉義市のホテルに2連泊です。



その年ごとの、流行や風刺を反映した手作りランタンが並ぶ



その年の干支をかたどったランタン

ABCコース共通 台北故宮博物院と 故宮南院の両院を訪問



至宝の数々を展示(翠玉白菜)

台北故宮博物院は約70万点ともいわれる莫大な数の所蔵品があります。世界でもっとも有名な白菜の翠玉白菜や、本物の豚の角煮のように見える肉形石、宋代の陶磁器製の白磁嬰児枕など、逸品が展示されています。作品は定期的に入れ替わるので、何度訪れても新しい発見があることでしょう。全てのコースで、台北故宮博物院に加え、台湾中南部の別院、故宮南院をご案内します。所蔵数の多さから、台北では展示されずに眠っていた逸品に出会えます。両院のすばらしい美術品を通して、台湾の歴史・文化にふれることができます。



現代の技術を以てしても再現できない逸品(象牙多層球)